



TITLE:

静脩 Vol. 14 No. 4 (1978.3) [全文]

AUTHOR(S):

CITATION:

静脩 Vol. 14 No. 4 (1978.3) [全文]. 静脩 1978, 14(4)

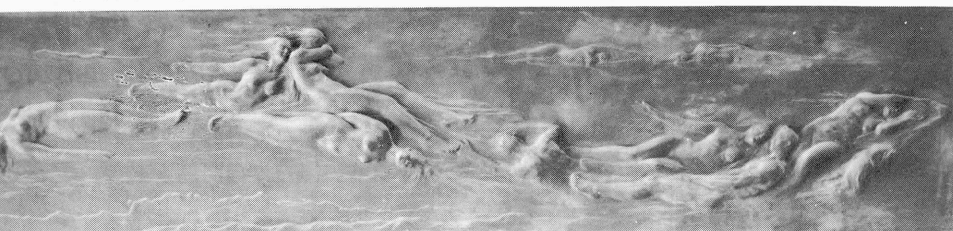
ISSUE DATE:

1978-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65960>

RIGHT:



全学図書館システムの確立へ向けて

附属図書館長 林 良 平

「大学の性格と効率は、その中心機関一すなわち図書館に対する取扱いによって測定される」というイギリスの大学基金委員会（University Grants Committee）の1921年の報告書の言葉は、今日も大学図書館について語られるに値するものである。

大学の沿革・環境などによって形成される性格、その果している役割は、あるいは、図書館から眺めることによって、最も明快に理解できるものかも知れない。ともあれ、図書館は大学の face であり style を示すものである。5年間、図書館長の職を汚して来たわたくしには、今にして上の言葉の意味をしみじみ考えさせられるのである。

どのような形態の図書館が、「絶対的」評価として、よいとか、わるいとか、いわれるべきものではない。それは図書館の形態が、その大学の沿革と発展段階で教室や部局の果して来た機能に、利巧に適合して発達するという自然の法則を忘れた不遜の言葉である。その限りでは各大学は各部局教室は異なった形態をとる。しかし、他面、絶えずこのように利巧に適合していく図書館形態を、ある大学でのある時点の姿に固定して、それを絶対視するならば、それまた、図書館が、それ自体に内在的な一つの発展方向に向って絶えず変化するものであることを忘れ、歴史の発展を一時期に固定させようとする、教条的信仰にも近い浅慮である。

しかし、人びとは、みずからの育った図書館の形態を超えて、別の世界がありうる、というごく初歩的な「比較」の第一歩に踏みだせないもので

ある。わたくしの正直な体験を二つばかり語ることを許して頂きたい。5年前、はからずも図書館長に選出されて、商議会—京都大学附属図書館の最高審議機関である—での話のやりとりの中で、図書館という用語でどうやらわたくしと異なった用法をされている商議員のおられることに、気付いた。13部局長と14の部局教授からなる商議会の話である。その方々によれば、図書館は学生が使うもので、教官研究者には関係がない。自分の専門の図書は自分以外には分らないし、手許においておく方がよい。各研究室に研究図書はあるものだ。実は、図書館には発注・受入・分類整理など手を煩わせているが、それは事務手続というにすぎないということらしい。わたくしはかなり時間をかけるまで、何をいつてられるのか分らなかった。というのは簡単な理由である。わたくしの育った法学部では、自己の研究室に専用するような専用図書もなければ、教官という特権もなく、院生・学生と同列に図書館から借り出し、用すれば返却する。40万という全図書は、法学部図書室で集中管理されており、そのシステムの中で育っていたからである。別に高速な図書館のあり方の理想像まで考えていたわけではない。どちらが、今の時点でよいということは一概にいえない。上記のところから明らかであろう。しかし、異なったシステムがそれぞれそれなりにわけがあり意味があるという理解に達することは、何と長い対話と実感を必要とするものであろうか。このときの対話も相互に（わたくしもこめて）相手を理解できていたものかどうか、問題であった。

今一つは、わたくしなりに、多くの図書館のあり方については考えていたのだが、館長になって、急に、学外との関係に目を覚められた。図書館界は、相互に自己の蔵書を知らせ合い、扶け合わねばならない、という焦躁感にも近い状態にあるということ、夥しい情報を収集し、交換し、提供するのの一つの図書館では何ほども出来ないということであった。それは主として、英・米・独などの海外での大学図書館のあり方を知ることによって触発されたものである。イギリスのブリティッシュライブラリーの貸出業務、シカゴのCenter for Research Library。いずれも、発展の途に差こそあれ、各大学などの図書館の蔵書の不足をカバーするための、大学を超える機関として、定期刊行物その他の網羅的収集を前提として、不足する資料の直接の貸出を（貸出を科学的に工夫して巧みに回転している）行っていること。また、相互の蔵書の存在・利用状態を捉えるための共通のデータベースをもつコンピューターシステム。日常の人手を食う目録作成業務や貸出手続が全く機械化され、相互に情報交換が速かとなり、かつ、それによって省力したものは情報提供というよりすすんだ業務の精励にふり向けられていること。そして、それらがわが国でもすでに部分的に導入されていること、であった。法学部図書室で集中されることにより、部内では、手許におく即座の利益をすてたものの、部内でのやりくりの迅速性を得たことで自己満足していたことの浅慮を恥じたのであった。

人びとは、経験的に2000冊前後までの蔵書では、殆んどすべてを記憶しているもののようなものである。しかし、これを超えると、購入したのか、どこへおいたのか、人に貸したのか混乱に陥る。40年近い研究生生活の中でわたくしの蔵書も1万に近くなった。余程の整理を要するものとなった。到底書斎や研究室にはおききれない。所蔵しつつ実は図書館の書物を使うよりも不便になり、非効率になって来る。それに、拡がる研究領域のため、より広い書物に近づくことを必要とし、それらの書籍を絶えず手許におき、蔵書にすることは、一層混乱を増す。さらに、情報量の増大は、自分の必要と

する文献を探し出すことは、個人では背負うことのできない作業になって来る。

図書館は、この個人の経験を、図書館という設備の中でも感じ始めている。何らかの打開が必要となって来ている。

わたくしも、在任5年。多少の見聞を通じて、図書館についてのあり方に考えをめぐらせて来た。京都大学のように多くの部局や研究部門をもち、それぞれ沿革を異にするところでは、その各々の事情を充分ふまえた上でないと、総体について論ずることは困難である。上記の経験からも御理解頂けるように学の内外に考えるべきことは多い。しかし、何よりもまず、部局・教室ごと。また、学内相互の図書館室の間で、相互理解と、時代に対応するよりよき図書館システムの探究への努力をなすべきときが来ていると信ずる。他の多くの諸大学での議論・成果、海外でのそれについては、改めてお伝えしたい。われわれの大学は決して早い方ではない。しかし、何ごとにも遅すぎるといふことはありえない。時には、遅れたためによりよい途を捉えやすいこともある。というより、遅れた大学ほど、好ましい結果を得ているのは、図書館の問題ではないかと思われる。東京大学と並んで最古の図書館をもつわれわれは、むしろこの点では苦しい立場にあったかも知れない。しかし、来るべき時代への新しい一歩には、むしろ遅れたための利益が与えられるかも知れない。ドイツのある州では、新設の大学に、一個の図書館のみを許す、という法律を作り、その結果が喜ばれているとも伝えられている。また、イギリスにおいても、10年前にすでに、ナショナルレベルの図書館委員会をもち、ParryやDainton 報告として、まとめられ、驚くべき全国的改革に乗り出した例もある。われわれは、急いで、しかし、慎重に自己の途を探したいものである。

5年前、就任の日に驚いたことは、全学研究設備から遊離した姿の附属図書館のあり方であった。その理由は今問わないことにする。しかし、その後、今や商議会に関する限りでは、わたくしが以上述べたようなことには、全学の深い理解がみら

れ、館員の姿勢も一変したと考えている。しかし、これが真に全学的な関心事になることを願って、拙い、かつ散文めいた所感を述べさせて頂いた次第である。

5年前より、商議会のうち部局長でない商議員によって、商議会の委員会として、運営改善委員会が開設され、わたくしが委員長を勤めさせて頂いているが、さらに小委員会などに分け、毎月1～2回の会合を経て、この度、有益な意見書を同委員会として商議会に提出された。これについては、直接小委員会で討議を主宰された小委員長の諸氏に、つぎの機会で、本誌で基本的方向を語って頂きたいと考えている。

また、同じメンバーで、中央選書委員会を設け、今や附属図書館は、研究・学習図書館として、全学的視野での選書を行うに至っている。

われわれは、55部局図書館（室）と、中央館た

る附属図書館が、それぞれの機能を大切にしながら、協同していくことが、少なくとも今時点では必要だと考えることについては一致している。さらに前述のようにコンピューターによる機械化は、日常管理（housekeeping）業務はもとより、情報収集、探索・提供機能としても必要であろう。その情報も、図書そのもの、いわゆる第一次情報のほか、その探索のための第二次情報についても考えねばなるまい。さらに、その第二次情報を処理・作成するところまで、いくべきかどうか。あるいは、この最後のところは、従来の図書館の機能を超えるものとして、われわれの業務をさらに一歩すすめておくべきではなからうか。そのためには、残念ながら今日の図書館の建物自身の機能的老朽化が著しい障碍となっていることを、お知らせねばならない。

「外国雑誌購入費」予算による新規発注

近年の外国雑誌の価格騰貴に対応して、外国雑誌購入費の別枠予算化の要請が本年度から実現し、この予算が本学にも配当された。

本予算の趣旨は「大学図書館における学術雑誌を整備充実し、集中管理を行うことにより、学内、地域内及び全国的な共同利用を促進し、もって学術研究の進展に資する」とされ、購入雑誌の要件としては、自然科学系の学術雑誌（一次資料）を対象とし、各大学で購入するもの（1種）のほか、特定学問分野ごとに、地域内で拠点大学が購入（2種）、全国的に拠点大学が購入（3種）して、学内、地域内、全国内の共同利用を図る3種別があり、本学には1種の予算が配付された。配当予算は、附属図書館に留保して、附属図書館において運用計画を策定し、予算を執行し、また購入した雑誌は、共同利用に最適な中央図書館又は分館に準ずる部局図書館に集中配架することとされている。本予算の運用について、数次にわたる商議会、並びに中央選書委員会及びその下の外国雑誌選書委員会の審議の結果、下記のリストが選定された。この雑誌は、宇治地区等の遠隔地との重複数点を除いては学内で1部のみのタイトルである。なお購入雑誌は、自然科学系5学部のそれぞれ中央図書室（又は準ずる図書室）各1箇所及び附属図書館（中央館）に配置されて、学内の共同利用に供される。（附属図書館事務部長）

昭和52年度 外国雑誌購入費による選定リスト

○備 付 場 所

- 1, 附＝附属図書館
- 2, 理＝理学部物理学教室図書室
- 3, 医＝医学図書館

- 4, 薬＝薬学部図書室
- 5, 工＝工学部中央事務室（107号室）
- 6, 農＝農学部図書室

誌	名	(国名)	(備付場所)	誌	名	(国名)	(備付場所)
Acta Agronomica.	(Hungary)	(農)		Computer and Education.	(E)	(附)	
Acta Paediatrica Scandinavica.	(Swiss)	(医)		Computer and Graphics.	(E)	(附)	
Acta Pharmacologica et Toxicologica.	(Denmark)	(薬)		Cosmic Research.	(A)	(理)	
Acta Pharmaceutica Suecica.	(Sweden)	(薬)		CRC Critical Reviews in Analytical Chemistry.	(A)	(農)	
Agricultural Water Management.	(Holland)	(農)		CRC Critical Reviews in Biochemistry.	(A)	(農)	
American Academy of Environmental Engineers.	(A)	(附)		CRC Critical Reviews in Bioengineering.	(A)	(農)	
American Journal of Digestive Diseases.	(A)	(医)		CRC Critical Reviews in Environmental Control.	(A)	(農)	
American Journal of Drug and Alcohol Abuse.	(A)	(医)		CRC Critical Reviews in Food Science and Nutrition.	(A)	(農)	
American Journal of Hematology.	(A)	(医)		CRC Critical Reviews in Solid State and Materials Sciences.	(A)	(農)	
American Journal of Medical Genetics.	(A)	(医)		Crystal Structure Communications.	(Italy)	(薬)	
Analytical Letters.	(A)	(農)		Diabetologia.	(G)	(医)	
Angiology.	(A)	(医)		Digestion.	(Swiss)	(医)	
Appita.	(Australia)	(農)		Doklady Biological Sciences.	(A)	(農)	
Applied Energy.	(E)	(附)		Drug and Chemical Toxicity.	(E)	(医)	
Aquaculture.	(Holland)	(農)		Drug and Cosmetic Industry.	(A)	(薬)	
Archiv für Elektrotechnik.	(G)	(附)		Energy Sources.	(A)	(附)	
Archiv der Pharmazie und Berichte der Deutschen Pharmazeutischen Gesellschaft.	(G)	(薬)		Environmental Biology and Medicine.	(E)	(医)	
Arzneimittel-Forschung.	(G)	(薬)		Environmental Conservation.	(Swiss)	(農)	
Australian Veterinary Journal.	(Australia)	(農)		Environmental Pollution.	(E)	(附)	
Automatic Monitoring and Measuring.	(E)	(附)		Experimental Aging Research.	(A)	(医)	
Behavioural Ecology and Sociobiology.	(G)	(農)		FEMS-Microbiology Letters.	(Holland)	(農)	
Biophysics.	(E)	(理)		FID News Bulletin.	(Holland)	(附)	
Botanical Bulletin of Academia Sinica.	(Republic of China)	(農)		Field Crop Research.	(Holland)	(農)	
Brittonia.	(A)	(理)		Fluid Phase Equilibria.	(Holland)	(附)	
Bulletin de l'Academie Polonaise des Sciences.	(Poland)	(附)		Fortschritte der Mineralogie.	(G)	(理)	
Bulletin of Parenteral Drug Association.	(A)	(薬)		Futures: The Journal of Forecasting and Planning.	(E)	(附)	
Canadian Medical Association Journal.	(C)	(医)		Gastrointestinal Hormones.	(E)	(医)	
Cancer Biochemistry-Biophysics.	(E)	(医)		Hormone and Metabolic Research.	(G)	(医)	
Cancer Immunology and Immunotherapy.	(G)	(医)		Human Genetics.	(G)	(医)	
Cancer Letters.	(Ireland)	(医)		Human Pathology.	(A)	(医)	
Carbon.	(E)	(附)		Human Physiology.	(A)	(医)	
Cell Differentiation.	(Ireland)	(理)		Hyperfine Interactions.	(Holland)	(附)	
Chartered Mechanical Engineer.	(E)	(工)		IEEE Transactions.	(All groups combined)	(A)	(工)
Chimia.	(Swiss)	(薬)		Indian Forestry.	(India)	(農)	
Chinese Astronomy.	(E)	(理)		Industrie-Anzeiger.	(G)	(工)	
Chromatographia.	(G)	(薬)		Industrie Minelate.	(Avec Mine et Mineralogie)	(F)	(附)
Clinical Endocrinology.	(E)	(医)		Informatik.	(GE)	(附)	
Clinical Immunology and Immunopathology.	(A)	(医)		Information Scientist.	(E)	(附)	
Clinical Nuclear Medicine.	(A)	(医)		Information Systems.	(G)	(附)	
Collection of Czechoslovak Chemical Communications.	(Czech)	(薬)		Inorganica Chimica Acta.	(Swiss)	(附)	
Communicator of Scientific and Technical Information.	(E)	(附)		Insect Biochemistry.	(E)	(農)	
Comparative Biochemistry and Physiology, Pt.B.	(E)	(農)		International Journal of Andrology.	(Denmark)	(農)	
				International Journal of Bio-Medical Engineering.	(E)	(附)	
				International Journal of Environmental Studies.	(E)	(附)	
				International Journal of Multiphase Flow.	(E)	(附)	

International Journal of Nuclear Medicine and Biology. (E)	(藥)	Neue Bergbautechnik. (GE)	(附)
International Journal of Pharmaceutics. (Holland)	(藥)	Neuroscience. (E)	(医)
International Journal of Urban and Regional Research. (E)	(農)	Neuroscience Letters. (Ireland)	(医)
International Orthopaedics. (G)	(医)	Nouveau Journal de Chimie. (F)	(工)
"In Vitro": Journal of the Tissue Culture Association. (A)	(農)	Oecologia Planfarum. (F)	(理)
Israel Journal of Botany. (Israel)	(農)	Oesterreichische Botanische Zeitschrift. (Plant Systematics and Evolution.) (Austria)	(理)
Israel Journal of Chemistry. (Israel)	(農)	Online: The Magazine of Online Information Systems. (A)	(附)
Journal of Bioengineering. (E)	(農)	Optical and Quantum Electronics. (E)	(理)
Journal of Chemical Research. (E)	(農)	Optics Letters. (A)	(理)
Journal of Computer-Based Instruction. (A)	(附)	Organic Magnetic Resonance. (E)	(附)
Journal of Crystal and Molecular Structure. (A)	(藥)	Pharmaceutica Acta Helvetica. (Swiss)	(藥)
Journal of Cyclic Nucleotide Research. (A)	(医)	Pharmacologist. (A)	(藥)
Journal of Dairy Research. (E)	(農)	Pharmazie. (GE)	(藥)
Journal of Documentation. (E)	(附)	Philosophical Transactions of the Royal Society of London. Ser.B; Biological Science. (E)	(理)
Journal of Engineering Physics. (A)	(工)	Physics and Chemistry of Minerals. (E)	(理)
Journal of Environmental Systems. (A)	(附)	Physics in Medicine and Biology. (E)	(附)
Journal of Fire and Flammability. (A)	(農)	Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers. (A)	(附)
Journal of Labelled Compounds and Radiopharmaceuticals. (E)	(藥)	The Pterolarpus. (Phillippine)	(農)
Journal of Library Automation. (A)	(附)	Pure and Applied Chemistry. (E)	(工)
Journal de Mécanique. (F)	(附)	Quarterly Journal of Crude Drug Research. (Holland)	(藥)
Journal of Mechanical Engineering Science. (E)	(附)	Reports on N.R.L. Progress. (A)	(工)
Journal of Medicinal Chemistry. (A)	(藥)	Research Communications in Chemical Pathology and Pharmacology. (A)	(藥)
Journal of Meteorology and Hydrology. (A)	(理)	Respiration Physiology. (Holland)	(医)
Journal of Molecular Catalysis. (Swiss)	(理)	Resource Recovery and Conservation. (Holland)	(附)
Journal of Molecular Medicine. (Ireland)	(医)	Revue de Zoologie et de Botanique Africaines. (F)	(理)
Journal of Non-Equilibrium Thermodynamics. (G)	(附)	Scandinavian Forestry Economics. (Finland)	(農)
Journal of Peasant Studies. (E)	(農)	Scandinavian Journal of Gastroenterology. (Norway)	(医)
Journal of the Reticuloendothelial Society. (A)	(医)	Schweizerische Mineralogische und Petrographische Mitteilungen. (Swiss)	(理)
Journal of the Society of Cosmetic Chemists. (E)	(藥)	Science Trends. (A)	(附)
Journal of Supramolecular Structure. (A)	(理)	Socio - Economic Planning Sciences. (E)	(附)
Journal of Thermal Stress. (A)	(附)	Soviet Automatic Control. (A)	(理)
Leukemia Research. (E)	(医)	Soviet Genetics. (A)	(農)
Lymphology. (G)	(藥)	Soviet Physics - Crystallography. (A)	(理)
Man: Journal of the Royal Anthropological Institute. (E)	(理)	Soviet Plant Physiology. (A)	(農)
Marine Micropaleontology. (H)	(理)	Special Libraries. (A)	(附)
Materials Engineering. (A)	(附)	Surgical Clinics of North America. (A)	(医)
The Mathematical Intelligencer. (G)	(理)	Synthetic Communications. (A)	(工)
The Mathematical Scientist. (Australia)	(理)	Technical Survey. (A)	(附)
Mathematics and Computers in Simulation. (Holland)	(附)	Transplantation Proceedings. (A)	(医)
Medical and Pediatric Oncology. (A)	(医)	Transportation Research. (E)	(附)
Metabolic Ophthalmology. (E)	(医)	Trends in Biochemical Science. (Holland)	(農)
Microchemical Journal. (A)	(藥)	Vegetatio. (Holland)	(理)
Molecular and General Genetics. (G)	(理)	Wildwach und Lawinenverbau. (Austria)	(農)
Nachrichten für Dokumentation. (G)	(附)		

法 学 部 図 書 室

法学部図書室は、明治32年9月、京都帝国大学法科大学図書室として開設され、爾来約80年に近い歴史を持ち、蔵書の数も40万冊を超えています。

昭和47年、書庫の狭隘、図書室機能の充実等を考え、総工費約2億円、全額国家予算で赤煉瓦の跡に瀟洒な現在の新館が建てられました。

新館は、鉄筋5階建、地下一階、建面積1673平方米、延面積9710平方米という壮大なもので、法学部・経済学部両図書室を内包し、その偉容を誇っています。

建物は南部が5階建の研究棟で、56の研究室を始め、会議室、図書関係事務室、職員休憩室等からなり、北部は書庫棟で、地下1階(2層可)、地上7層、延べ3648平方米、収容冊数約80万冊の近代的な大書庫となっています。この両棟を結んで2階建の閲覧棟があり、大閲覧室のほか、文献複写室、資料室等が新設されています。



当室は、法律、政治の研究図書室として、その資料の質の高さを誇って来ましたが、書庫の狭隘、機能面の行き詰まり等から、学部学生を始め、広く資料を提供することを前提として、大閲覧室を含む新館の建築となりました。

法学部における基礎資料は何んと言っても法令集、判例集で、日本及び外国の法令集、判例集は教育研究設備として最重要のものであり、法令の改正、判例の動向を知る上で、欠くことの出来な

いものであります。しかも、これら法令集、判例集は、他の法律専門図書と異なり、研究者の研究関心や計画によってのみ、選択購入されるものでなく、全く特殊な図書群で、形態も、刊行も一般図書とは随分違っています。

法律図書と言へば、一見無味乾燥の冷たいイメージを受けますが、ひもとけば、判例集には、人間のいろいろな問題や苦しみ、即ち家庭内の問題、道徳上のあやまち、および経済上のトラブル等までもこと細かに記述されており、特定の時代や、場所における社会的、政治的、および経済的傾向や状況を良く反映しています。さらに裁判官独り独りによる、ユニークな判決からその時代々々の散文の文調や、文体をうかがい知ることも出来ます。従って、これら法律関係資料は、独り法律研究のためだけでなく、色々な分野からも利用出来る貴重な資料であります。

さらに、法律文献資料類は、他の分野の文献類よりも非常に高度に作られており、目録、索引等が充分に附けられています。法令から数多くの判例へ、判例から法令へとの相関関係は、法律分野における文献検索方法を、コンピューター以前のものとしては、最も高度で精巧なものとしています。

現在、法学部図書室の蔵書を利用されるには、幾つかの方法がありましようが、概ね次のような方法で利用して頂くのが便利かと思います。

1. カード目録を利用する方法

情報検索として最も正統な方法であり、図書室にある蔵書の大部分を網羅しており、図書の在りかを明示しています。

2. 参考図書(各種索引・目録)の利用

専門化された各種文献索引、および各種文献目録は第一次資料へのアプローチを容易にします。

3. 「カウンター」の利用

書誌的な検索方法を勉強している職員が、利用者の身になって文献探しのお手伝いをします。

SSCIのご案内

SSCIは、Social Sciences Citation Indexのことであって、「社会科学文献引用索引」ということになります。その仕組としては、被引用文献と引用文献の間の学問上の関連性に基礎を置き、引用された文献から引用した文献にはどのようなものがあるかをたどってゆくことを可能にした索引であるということが出来ます。

その内容は、あらまし次の通りです。

1. Citation Index

主要な雑誌に掲載された論文中に引用された文献の著者及びその文献名や誌名、巻号などを、被引用著者名のアルファベット順に排列したものです。

2. Source Index

主要な雑誌に掲載された論文が、著者名のアルファベット順に排列されたものであります。

3. Permuterm Subject Index

PermutermとはPermuted term（並び換えられた語）の造語です。Source Indexに収録された論文の標題から抜き出した主要な単語を、二語組み合せた件名（主題）のアルファベット順索引です。

4. Corporate Address Index

ある研究領域で業績をあげている研究機関に、雑誌論文の著者が所属している場合、そ

の所属機関名から索引することができます。

ところでSSCIでは下記の社会科学分野を包含しています。

人類学、考古学、地域研究、事務・財務、コミュニケーション、公衆衛生、犯罪学、刑罰学、人口統計学、経済学、教育研究、人種グループ研究、地理、歴史、情報科学・図書館学、法律、言語学、経営学、マーケティング、哲学、政治学、心理学、精神医学、社会学、統計学、都市計画・都市開発

このように、世界中の重要な雑誌1,200点余を対象に、掲載論文が索引化され、かつ自然科学に属する雑誌ではあるが社会科学関係の重要論文をも掲載しているもの2,200点余を選択的にカバーしています。こうして約10万の新らしい論文から100万余の引用された文献が抜出されています。

なお、情報の速報性ですが、SSCIの文献索引は、4月に出た論文は6月に、8月に出た論文は10月には検索することができ、9月～12月の索引項目とそれ以前の期間のものを総合した一年の累積版は各年末から4カ月以内に入手できます。

このように、SSCIを用いれば重要な論文をまだ新らしいうちに見いだし、利用することができることになります。

せいぜいご利用下さい。

附属図書館へ“Gmelin”移管される

最近まで工業化学教室で購入され利用されていたGmelinが、このたび附属図書館へ移管されて継続購入されることになりました。Gmelinは正式にはGmelins Handbuch der anorganischen Chemieであって単なるハンドブックではなく、単行本・雑誌論文はもとより特許をも包含した無機化学と

関連分野に関する世界的文献の集書であります。

収録は内容に従って分類され、その分類はGmelin独特の方法すなわちSystem-Numberによって行われ、Teil, Lieferungに従って、できたところから出して行く方法をとっています。

せいぜいご利用下さい。

昭和51年度 分類別利用状況

区 分		閲 覧			貸 出	合 計		
分 類 別		開 架	庫 内	小 計	(庫内)	合 計		利用率
和 書 () 内はNDC	1 宗 教 ・ 哲 学 (1)	2,278	1,235	3,513	1,022	4,535		6.8
	教 育 (3)	1,096	247	1,343	268	1,611		2.4
	2 法 律 ・ 政 治 (3)	14,669	546	15,215	738	15,953		23.8
	3 経 済 ・ 社 会 (3)	3,823	788	4,611	1,124	5,735		8.6
	4 文 学 (9)	2,426	2,939	5,365	2,402	7,767		11.6
	語 学 (8)	1,837	269	2,106	273	2,379		3.6
	5 歴 史 ・ 地 理 (2)	2,034	1,505	3,539	1,875	5,414		8.1
	6 自 然 科 学 (4)	13,097	254	13,351	265	13,616		20.3
	7 医 学 (4)	423	59	482	59	541		0.8
	8 工 学 (5)	2,319	136	2,455	136	2,591		3.8
	軍 事 (3)	29	61	90	83	173		0.3
	芸 術 (7)	691	515	1,206	350	1,556		2.3
	9 産 業 (6)	314	406	720	534	1,254		1.9
	10 全 書 ・ 叢 書 (0)	73	2,334	2,407	1,051	3,458		5.2
	図 書 館 学 (0)	13	32	45	283	328		0.5
	計	45,122	11,326	56,448	10,463	66,911		100.0
洋 書 () 内はNDC	1 Philosophy (1)		4	4	22	26	} 28	1.6
	Aesthetics (7)		0	0	2	2		
	2 Social sciences (3)		45	45	150	195	} 199	11.4
	Religion (1)		1	1	3	4		
	3 Philology (8)	698	4	702	7	709		40.7
	4 Library science Bibliography (0)		7	7	63	70	} 144	8.3
	Literature (9)		10	10	64	74		
	5 History (2)		15	15	62	77		4.4
	6 European History (2)		8	8	20	28		1.6
	7 Sciences (4)		50	50	92	142		8.2
	8 Art. Music. Theatre. Sports (7)		4	4	76	80	} 103	5.9
	Industries (5)		2	2	16	18		
	Agriculture (6)		4	4	0	4		
	Military (3)		0	0	1	1		
	9 Geography & Travels (2)		0	0	4	4		0.2
	10 Encyclopaedia & Periodicals (0)		227	227	81	308		17.7
	計	698	381	1,079	663	1,742		100.0
和 書 ・ 洋 書 合 計		45,820	11,707	57,527	11,126	68,653		

(未製本雑誌は含まず)

京都大学附属図書館報「静脩」Vol.14, No.4 (通号58号) 1978年3月31日発行・編集：静脩編集委員会 (責任者 附属図書館事務部長) 発行：京都大学附属図書館・京都市左京区吉田本町・電大代 751-2111 (内線) 2611~2641